

愛西市の教育に関する諸問題



山岡 幹雄 議員

質問
市内のいじめ・不登校についてどのように対処しているか。そして、各学校のいじめの問題についての取り組みの現状は。

スクールカウンセラーを全中学校と佐屋小、立北小、北河田小の9校に配置し、保護者、本人、教職員も、どのカウンセラーにも相談できる体制になっている。

教育部長
定期的にいじめ・不登校対策委員会を設置して、児童生徒の状況について情報交換し、対策について話し合っている。

また、不登校対策としては、適応指導教室「すまいる」を開設し、学校復帰できた者が数多い。

質問
市内の学校での情報モラル教育の取り組みの現状と、保護者世帯への警鐘という意味での学習機会については。

教育部長
小学校では、「コンピューターを使用した授業の中で情報モラルを意識した教育を進

めている。中学校では、インターネット利用時の注意点や、インターネットメールを利用する際のマナー、掲示板への書き込み、携帯電話の安全な使い方、ネットショッピングなどについて、模擬体験を通じて指導を進めている。保護者の方には、愛知県警察本部の方を講師に招いて、インターネットに潜む危険性と利用安心・安全教室を開催している。

質問
小学校・中学校間の連携、地域と学校との連携がさげばれているが、市内学校の現状

と取り組みは。

教育部長
佐屋小と佐屋西小と佐屋中学校間では、特別支援学級の相互の授業参観、永和中学校と永和小学校では、小・中の合同運動会を開催、佐織中と北河田小及び勝幡小では、職員間の情報交換や児童・生徒の交流も実施されている。佐織中においては、小学校への出前授業を行い、佐織中の数学と英語の教師が北河田小と勝幡小へ出かけて授業をし、その内容は、数学は図形とか数の学習、英語ではコミュニケーションを中心に出前講座

を行っている。それから、6年生が佐織中学校へ出向いての中学校の部活動の見学などを行っている。

佐織中では、地域にはたらかける学校づくり推進事業を行い、地域の戦争体験を持つお年寄りを学校に招いて話を聞いたり、地域の方とランチルームで試食会、音楽鑑賞を行っている。学校が地域へ出向く交流として、佐織納涼祭りに生徒やPTAがボランティアとして前日の準備から後片付けまでの活動の手伝い、市が行うごみゼロ運動にも参加している。

